東温市の財政状況

住民基本台帳
（H23.3.31現在）
人口　34,568人
世帯数　14,090世帯

22年度の収入と支出

平成22年度の東温市の一般会計決算は、収入が147億7893万円（前年度比6億3062万円、4.5%増）、支出が140億1536万円（前年度比6億3897万円、4.8%増）となりました。増加の主な要因は、中学校改築費や児童・子ども手当の増加などによるものです。

一般会計に特別会計と企業会計を合わせた支出の総額は239億7321万円で、前年度と比較すると3億7616万円、1.6%の減少となりました。その主な要因は、処理場建設委託費の減による公共下水道特別会計の減少や重信地区水道事業の整備完了に伴う水道事業会計の減少などによるものです。

福祉や環境、ごみ処理、道路や公園整備、教育など市が行う行政サービスの殆んどの事業の経理を行う会計を一般会計といいます。

この他に国民健康保険や介護保険、下水道など特定の収入があり一般会計と区分して経理を行う特別会計（8会計）と独立採算制を原則とする事業の経理を行う企業会計（水道事業）があります。

一般会計の収入では、全国のどの市町村に住んでも一定水準の行政サービスが受けられるよう国から交付される地方交付税が約43億4千万円で全収入の29%、次いで市民のみなさんが納められた市税の収入が約37億円で全収入の約25%を占めています。収入全体では、約147億8千万円、市民1人あたり換算で422万7530円となっています。市税を市民1人あたりに換算すると、約75万4160円、次で全支出の約31%、市民1人あたり換算で12万7050円、次いで市有財産や戸籍の管理、市税の徴収費などの総務費が約19億6千万円で14%、1人あたり5万6830円、以下、公債費、土木費、衛生費、農林水産業費と続いています。

支出全体では、約140億2千万円、1人あたり40万5440円となっています。

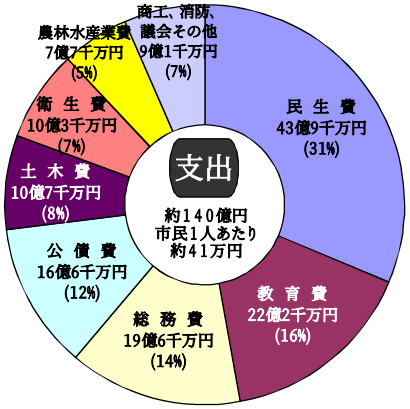
寄りや障害のある人に対する福祉や子育て支援などの民生費が一番多く約43億9千万円となっています。

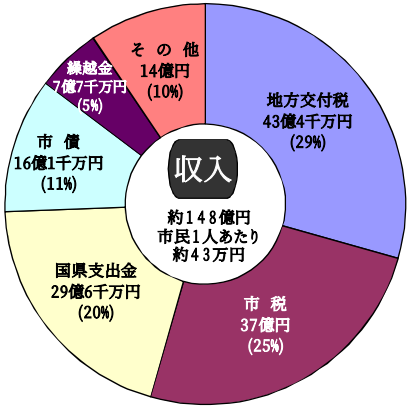
一方、支出では、お年

東温スマイル・クレジット

市民（1人あたり）に使われたお金

民生費	127,050円	お年寄りや障害のある人に対する福祉の充実、子育て支援などの費用です。
教育費	64,160円	学校教育や生涯学習、文化・スポーツ振興などの費用です。
総務費	56,830円	市有財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収などの費用です。
公債費	47,990円	市が借りているお金を返済する費用です。
土木費	30,920円	道路や公園など整備、維持管理の費用です。
衛生費	29,900円	ごみ処理や環境保全、病気の予防などの費用です。
農林水産業費	22,180円	農林水産業の振興や、生産基盤整備などの費用です。
その他	26,410円	議会の運営、商工業や観光の振興、消防や災害対策などの費用です。
支出の合計	405,440円	





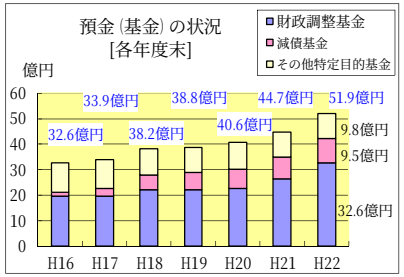
すべての会計の支出をあわせると

一般会計	140億1,536万円
特別会計	82億3,154万円
企業会計（水道事業）	17億2,631万円
合計	239億7,321万円

特別会計の内訳

国民健康保険	35億4,884万円
老人保健	530万円
後期高齢者医療	3億1,748万円
介護保険	29億5,112万円
ふるさと交流館	1億9,385万円
簡易水道	173万円
農業集落排水	1億4,405万円
公共下水道	10億6,917万円

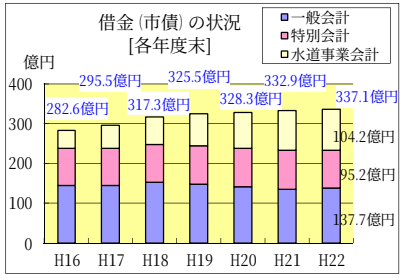
市の預金は？



市の22年度末の預金残高は約51億9千万円（市民1人あたり約15万円）です。前年度末と比較すると約7億2千万円増加しています。

このうち財政調整基金と減債基金が預金全体の約81%を占めています。これは学校施設や公共施設の耐震改修工事など、今後大幅な増加が見込まれる事業に備えるためのものです。

市の借金は？



市の22年度末の借入金残高は一般会計で約137億7千万円（市民1人あたり約39万8千円）これに特別会計と水道事業会計を合わせると約337億1千万円（市民1人あたり約97万5千円）になります。

前年度末と比較すると一般会計では約1億9千万円増加しており、特別会計と水道事業会計を含めた全体では約4億1千万円増加しています。

このうち特に水道事業会計が上水道への整備を進めているため、約3億9千万円増加しています。

月収30万円の家計に例えると

東温市の22年度の収入は約148億円ですが、金額が大きすぎて実感がわきません。

そこで月収30万円とした場合の"とうおん家"の家計に置き換えてみました。

食費や子どもの教育費、医療費やローンの返済など毎月約28万5千円が必要です。

これに対して収入は、給料の約8万8千円だけでは生計を立てることができない状況です。

このため親からの仕送り約16万1千円と預金の取崩しや借金によって、やり繰りしている状況です。

※わかりやすさを優先して作成しています。正確な意味や内容と違う部分もありますが、ご理解願います。

"とうおん家"の家計簿

支出		比率
医療・教育費、保険料 扶助費、補助費等	60,100円	21%
食費 人件費	48,900円	17%
光熱水費、電話代 物件費	38,400円	14%
ローンの返済 公債費	33,700円	12%
自宅の増改築、修繕費 普通建設事業費・維持補修費	51,500円	18%
子どもへの仕送り 繰出金	34,600円	12%
預金 積立金	17,300円	6%
合計	284,500円	100%

収入		比率
給料 市税・使用料・諸収入など	88,000円	29%
預金の取崩し 繰入金	2,000円	1%
前月からの持ち越し 繰越金	16,000円	5%
親からの仕送り 地方交付税・国県支出金など	161,000円	54%
銀行からの借入れ 市債	33,000円	11%
合計	300,000円	100%
翌月へ持ち越し 繰越金	15,500円	